

第1回射水市バリアフリーマスタープラン策定協議会 会議録

開催概要

- 日 時 令和元年10月9日(水) 10:00~10:50
- 場 所 射水市役所本庁舎 4階 会議室 401
- 出席者 委員 18名 事務局 12名

射水市バリアフリーマスタープラン策定協議会委員

NO	氏名	所属
1	小柳津 英知	富山大学経済学部
2	炭谷 靖子	学校法人浦山学園富山福祉短期大学
3	中村 弘	射水市老人クラブ連合会
4	久々江 除作	射水市中心身障害者連合会
5	村田 稔	射水市聴覚障害者協会
6	上田 英久	あいの風とやま鉄道株式会社
7	水上 哲	万葉線株式会社
8	林 裕一	富山地方鉄道株式会社
9	釣谷 隆行	海王交通株式会社
10	山崎 京子	射水市母親クラブ連絡協議会
11	砂原 良重	射水商工会議所
12	寺越 眸	射水市地域振興会連合会
13	片倉 勝	北陸信越運輸局交通政策部
14	浦 誠夫	富山県高岡土木センター
15	島木 康太	射水市
16	板山 浩一	射水市
17	島崎 真治	射水市
18	津田 泰宏	射水市

- 【事務局】 企画管理部次長、福祉保健部次長、都市整備部次長、
地域福祉課長、社会福祉課長、生活安全課長、都市計画課長、
道路課長、政策推進課長、政策推進課員

会議次第

- 1 あいさつ（会長 小柳津会長）
- 2 バリアフリーマスタープランの概要について 資料1
- 3 その他
- 4 閉会

<配布資料>

- 資料1 射水市バリアフリーマスタープラン策定協議会 資料
参考資料1 射水市バリアフリーマスタープラン策定協議会 参考資料
参考資料2 射水市バリアフリーマスタープラン策定協議会運営要綱
参考資料3 バリアフリー状況判定表

協議事項

(1) バリアフリーマスタープランの概要について

- 事務局より、「Ⅰ. バリアフリーマスタープランの策定について」及び「Ⅱ. 本市の概況」、「Ⅲ. 上位・関連計画の整理（概要）」を説明。

○委員

本マスタープランを通して将来的に物理的な障害を取り除く取組が進められるものと理解した。

聴覚障害者は、移動の際には手話等のコミュニケーションが必要であり、人との関わりがどうしても必要となる。

具体的にどのように計画に盛り込めばいいのかわからないが、物理的な側面からだけでなく、人とのコミュニケーションなどのソフト面に関する意見も計画に取り入れてほしい。

○事務局

バリアフリーマスタープランではハード面での位置づけを行いたいと考えている。合わせて、心のバリアフリーとして、先ほど頂いたコミュニケーションも含めてマスタープランに位置づけていきたい。

○会長

また意見があれば、この後に機会を設けるので発言してほしい。

では、引き続き事務局の方から説明していただきたい。

- 事務局より、「Ⅳ. 移動等円滑化促進地区の設定について」及び「Ⅴ. 住民意向の把握について」を説明。

○委員

関係者ヒアリング調査について、調査時期(案)が10月初旬から中旬ということであるが、調査内容をもう少し詳しく教えていただきたい。

○事務局

調査内容については資料1の31ページ右側を見ていただきたい。具体的には、普段よく利用される施設(商業施設等)やその際の移動経路などについてヒアリングを行いたいと考えている。また、このヒアリング結果を、移動等円滑化促進地区に位置づける生活関連施設や生活関連経路に反映させていきたい。

○委員

どの程度のヒアリングの件数を考えているのか。

○事務局

各団体の会長と調整し、代表者数人から話を伺うことができないかと考えている。

○副会長

物理的な問題については資料1の通りに計画を進めてよいと思うが、心の問題については、先ほどの発言にあったように、人とのコミュニケーションの中で言語的な問題等も生じると思う。射水市には外国人が多いので、外国人が移動する際にどのような障害や障壁があるのかをこの機会に、合わせて調査した方がよいと思う。

○事務局

外国人への対応については、今後、検討しながら、この会議の中で諮らせていただきたい。

○会長

他に意見がないようであれば、今回の協議を終了させていただきたい。